

当事者活動

チャレンジドたかしま

11月14日に、滋賀県障害者スポーツ大会・ソフトボール競技に出場！

コロナ禍で大会開催が危ぶまれる中、守山市民運動公園で、滋賀県障害者スポーツ大会が開催され、ソフトボール競技(知的障がい部門)に、登録選手15名中、11名が参加しました。

初戦は、「しがらっきーず」。初回4点を取って上々の立ち上がり、3回まで8対5でリード。しかし、4回に大量点を取られて逆転され、17対8で敗退となりました。来年こそ、1勝を目指して頑張ります。

高島市役所・高島保健所・あすくる高島・エール・働き暮らし応援センター、虹の会の職員やご家族の皆様、多くのボランティアの方にご支援・ご協力いただき、まことにありがとうございました。



TDG サークル(たのしい・だから・がんばろう)

10月30日、ピラデスト今津で、森林セラピーを体験！

TDG サークルは、楽しい経験を通じて、人とのコミュニケーションやマナーを学ぶ当事者サークルです。

今回、高島森林セラピーの方のご案内で、ピラデスト今津へ行きました。コースの説明を受け、いざ出発。針葉樹の森、広葉樹の森を歩き、途中でハンモック体験もし、ガイドさんの「オカリナ演奏」も聞きました。頑張って山を登り切ったところに、四季咲桜が咲いていました。

筋雲がきれいな秋の空、澄み渡る琵琶湖を眺めながら、記念撮影。木のぬくもり、水のせせらぎの音、鳥の鳴き声、苔の柔らかさ…、森のすばらしさを五感で感じる事ができました。



こころのかけはし

(精神保健福祉連絡会)

12月9日、スポーツ交流会を開催！

市内の精神保健福祉の交流サロンが集まって、今津東コミュニティセンターにて、スポーツ交流会を開催し、「ポッチャ」を楽しみました。

ポッチャをするのははじめての方が多く、「力加減がわからず往生した」「コツがつかめてきたところで終わった」などの声がありましたが、「下手とか上手とか関係なくみんなが楽しめるスポーツ。面白かった。」「楽しかった。またやりたい。」などの感想もたくさんいただきました。

くじ引きで決めた3人1組のチーム戦で行い、ポッチャを通して、サロンの垣根を超えた交流の機会となりました。



コンパス通信

2021年2号

コンパスとは？

高島市障がい者相談支援センターコンパスは、障がいのある方・その家族・関係者等のための総合相談窓口です。基幹相談支援センターとして地域の相談の拠点となり、以下の事業を担っています。

- ◎総合的・専門的な相談支援
- ◎高島市障がい者自立支援協議会の事務局運営
- ◎地域相談支援体制の整備
- ◎地域相談支援のネットワークづくり
- ◎滋賀県障害者自立支援協議会(部会等)への参加

相談するには？

まずはお電話ください⇒☎0740-22-5553

- ★ 受付時間:9時～17時(月～金)
- ★ 休み:土日・祝日・お盆・年末年始
- ★ 困っているご本人以外にもご家族やその他関係者からの相談も承ります。

ここにあります！

- ★ 市役所今津支所の隣にある今津老人福祉センター内に事務所があります。
- ★ 近くのバス停は「勤労者体育センター前」。



お詫びとお願い

今回、文章中の読み仮名を無くしております。読みやすい大きさの文字・書体(UD書体)にするとともに、掲載できる情報量を増やすための措置です。何卒、ご理解いただきますようお願いいたします。

社会資源・ご紹介

「訪問看護ステーション LIFE」

(安曇川町西万木)

2021年3月1日に、「訪問看護ステーションLIFE 安曇川事業所」がオープン。

自宅で生活を望んでおられる方が、どんな病気や状況であっても安全・安楽に生活ができるように、心のこもった温かいサービスが提供できる体制を整えています。

ご利用者さま・ご家族が安心した生活ができるように「24時間365日」サポートできるよう対応しています。

問合先:訪問看護ステーションLIFE 安曇川事業所 携帯 070-1305-6215 小手川



「ナースステーション ひより」

(新旭町駅前)



2021年5月にオープン。

病気や障がいがあっても、住み慣れた家で暮らしたい。

そんな想いをサポート致します。

医師の指示に基づき療養生活の支援を必要とする方が利用できます。私たちは利用者の病気を看るだけでなく、生活全体を見ていくことで本人が家庭から社会にステージをかえていく支援のほか、家族の方の精神的なフォローやアドバイスも重視しております。

問合先:ナースステーションひより 担当土井

TEL0740-33-7751 携帯 090-1974-2719

リカバリーサロン「のこのこ」 (新旭町 MIZU cafe cocco 内)

生きづらさを抱えた人が、元気を回復して生きる希望を取り戻す「リカバリー」を目指す場所です。

ゆっくりと体験を重ねて自信を取り戻し、自分を好きになって認めていけるよう、面談や季節の行事などの活動を行います。

火曜は10時から17時、月水木金は15時から17時(要予約)

土日・年末年始・お盆・大型連休は休みになります。

非課税の方は基本無料。

ただし、内容によって実費負担があります。

問合先:就労準備支援 ホップ 0740-25-8277

担当 中山 (精神保健福祉士・公認心理師)



「災害時の個別避難計画」作成と地域づくり

災害時に誰一人取り残さない防災を実現するため、障がい者や高齢者で、住居地の災害リスク・心身状況・社会的孤立等の状況から、対象となる人をリストアップし、個別避難計画を作成しています。

【事例紹介】

今津町・西区在住・Hさん(身体障がい・電動車いす使用)
一人暮らしのため、災害時にはヘルパーが来れず、生活できなくなる心配がありました。

Hさんは電動車いすを使用されており、わずかな浸水でも避難が難しくなります。また、ご自身では車椅子への移乗もできないため、支援者の介助が必要です。

そこで、はじめに、地区の民生委員・自治会長に連絡し、避難に際してどのような支援が必要かを話し合いました。

その後、住民参加の防災学習会を行い、市社会福祉課から「個別避難計画策定」について説明を受け、防災課の助言を受けながら、地域の皆さんへの理解を広げました。

地域の皆さんからは、「Hさんだけでなく、高齢者も増えていて、避難の時に困る人が多いはず。日頃から、となり近所での助け合いが大切」とのご意見が出されました。

Hさんの希望もあり、11月には、「避難訓練」を行い、介助の方法や避難先までの移動について検証しました。

【これから】

今後、「医療的ケアが必要な方」や「視覚障がいがある方」等、個別の状況をもとに、地域の自治会や民生委員の方をはじめ、地域住民の皆さんと丁寧に相談しながら「誰一人取り残さない防災」を実現したいと考えています。



避難訓練打合せ



車椅子で外へ



自家用車への移乗

高島市障がい者自立支援協議会について

市内の障がい福祉・関係機関が集まり、地域課題を共有しながら、「障がいのある人もない人も安心して暮らせる地域づくり」について考えています。



●いのちのプロジェクト

「障がいの方の予期せぬ妊娠」という課題をもとにして開始した本プロジェクトは、「性教育を通して、いのちの大切さを伝えること」を目指しています。今年度より本格的に「地域で啓発できる映像での教材」の作成に取り組んでいます。

動画は、『いのちである“性”について知っておいてほしいこと』『身体を知ろう』『いのちとは』『こころの話』『人生のまとめ』の5つのカテゴリーに分けて作成します。

今年度中に、撮影前までの準備をしっかりと行い、次年度から撮影・編集に移る予定です。

令和4年度中の完成を目指し、メンバー一丸となって頑張ります。

